

常葉大学造形学部

紀 要

第15号 2017年3月発行

目次 Contents

作品

5	地軸体 / 地殻体	夏池 篤
9	ART WORKS 2014-2016	田宮話子
13	第101回記念二科展 デザイン部	加藤之敏
25	日本ブックデザイン賞2016	チラユ ポンワルット
33	サルベージ	山本浩二

論文

彫塑教育における指導の要点と内容の工夫	39
夏池 篤、田中俊之	
現代美術表現における写真の芸術性と絵画的性、及び、美術教育における写真表現についての考察。	47
蜂谷充志、関本幸治	
HCDサイクルを用いたProject Based Learningの実践についての考察	57
安武伸朗	
造形教育の地域貢献型授業実践に関する研究(徳川家康公四百年祭+造形学部+静岡刑務所)	63
加藤之敏、チラユ ポンワルット、合津正之助	
旧平野家住宅建造物群の文化財的価値と耐震性能評価	77
土屋和男	
美術・図画工作科の授業における数値化される能力との決別についての考察 -観点別の視点から美術・図工の評価を考える-	93
合津正之助	
工芸教育における染焼についての実践的研究-染茶碗の引き出しと景色を生み出す工夫について-	101
山本浩二	

報告

111	展覧会ディスプレイの一例 展示作品と鑑賞者の出会いの場を創造するために 常葉美術館「小林かいち」展を例に	堀切正人
117	樂土の森アートセッション 2016	長橋秀樹
129	シラパコーン大学創立 60 周年記念国際交流展	合津正之助、夏池 篤、加藤之敏、蜂谷充志、山本浩二、PONGVARUT JIRAYU、長橋 秀樹、三原信彦、黒住政男、キムミンジ
145	吉野屋の文化財建造物群について	土屋和男
155	中野和馬の陶芸—抵抗と創造の軌跡—	山本浩二

作 品

夏池 篤
田宮話子
加藤之敏

チラユ ポンワルット
山本浩二

地軸体／地殻体

Earth's Axis Object／Earth's Crust Object

キーワード：
石
アルミニウム
コマ
電磁石
リレー

地軸体 大きさ：約 h45 × w45 × d110cm (台座含む)
素 材：石、アルミニウム、電磁石、ネオジウム磁石、リレー 等
発 表：contemporary art exhibition 2016 1月14日～2月2日

地殻体 大きさ：約 h45 × w45 × d120cm
素 材：アルミニウム、鉄、鏡、LED、電磁石、ネオジウム磁石、リレー 等
発 表：第90回国展 2016年4月27日～5月9日

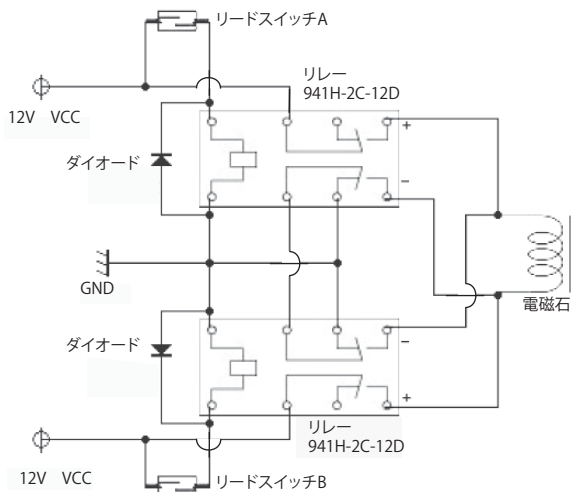
作品内部の電磁石の極性を切り替えることで回転し続ける物体を内蔵した立体作品

作品「地軸体」は自然石を分割しその内部を抜き取った中心で、アルミのコマを回転させたものである。

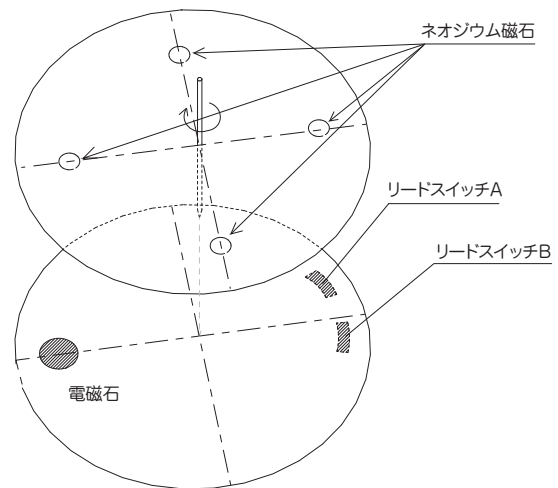
地球の断片である自然石の中で回転し続けるコマは、自転する地球の中心を貫く地軸をイメージさせるものである。

もう一つの作品「地殻体」は外側がアルミ鋳造による六角形と五角形からなる突起で構成されている。上部の突起の先には穴があげられており中が覗けるようになっている。内部の鏡の上ではアルミ製のコマが回転しており、その鏡面の下では緑色と青色の発光ダイオード (LED) がその回転に合わせて点滅している。内部周辺にも鏡が貼られており、LEDの光を反射させながら回転するコマがそこに映り込む。そこには外観とは全くイメージの異なる迷宮のような幻想的な空間が広がっている。

この二つの作品はいずれも電磁石の極性をリードスイッチとリレーにより回転に合わせて切り替えることで内部の回転体を回し続けている。構造的には回転体の下部にはネオジウム磁石が4箇所に取り付けられおり、底部に取り付けられたリードスイッチにより電磁石の極性を変えることで吸引と反発を繰り返しながら回転している。今回のリレー (6極接点) 2個の組み合わせで特筆される部分は、2つのスイッチにより極性が変化するのに加え、2つのスイッチが同時にオン状態になったとき (ネオジウム磁石がリードスイッチAとBの間にあるとき) 電磁石はオフ状態になることである。電磁石の極性の切り替えの中間にオフの状態が得られたことで、スムーズなコマの回転が可能となっている。



〈回路図〉



〈構造図〉